

ナホで、がん患者さんはひとりで不安を抱えておられないだろうか。乳がん再発と診断された頃を思い出します。私は37歳で乳がんになりました。その時のショックは言葉に例えられないくらいの衝撃でした。命へ続く蜘蛛の糸をズソーンと切れられ、奈落の底へ落とされ「もう終わる」と希望を失った私を救ってくれたのが、ピア(同じ立場の人)サポートでした。7月7日七夕、「あけぼのハウス」(9月17日)に再発転移での集い」に再発転移で治療中の方が集いました。辛い思いを乗り越え、体にダメージはあるが、皆さんとにかく元気で明るくやさしい。「がん患者への偏見はまだまだ

人と人を遠ざける口  
ナホで、がん患者さんはひとりで不安を抱えておられないだろうか。乳がん再発と診断された頃を思い出します。

私は37歳で乳がんにな

り、4年目に再発しました。

その時のショックは

言葉に例えられないくらいの衝撃でした。命へ続

く蜘蛛の糸をズソーンと切

れられ、奈落の底へ落とさ

れ「もう終わる」と希望

を失った私を救ってくれたのが、ピア(同じ立場の人)サポートでした。

7月7日七夕、「あけ

菊井津多子

あるよね」に、「うんうん」と頷いたり、「寄り添つてくれる友達もいるよ」と話したり。姑を病室に見舞った時に、「あなたに私の胸をあげたいわ」と会えてよかったです」「また参加が話せた」「いろんなことが話せた」「また参加

◇乳がん患者さんの集

い

「AYA世代限定の集

い」(8月12日・金)「あ

けぼのハウス」(9月1

7日)に笑みがこぼれ

ました。

オンライン参

加も出来た

ハイブリッ

ド形式にト

ライ! 同

じがんの方

と会えてよ

かつた「い

ろんなこと

が話せた

ます。

◇乳がん患者さんの集

い

がんサバイバーの菊井

津多子さんが、新たに「よ

し笛」の執筆者に加わり



6月6日FMおおつのラジオ収録の写真です。  
乳がんについて30分話しました

## がん医療に必要なサポート

ぼのハウス(乳がん患者の集い)」に再発転移で治療中の方が集いました。辛い思いを乗り越え、体にダメージはあるが、皆さんとにかく元気で明るくやさしい。「がん患者への偏見はまだまだ

たりと、あつという間に時間が過ぎました。時間は重い感じな「集いは重い感じなかな」と心配だった方も、「皆さん強くって明るくって気持ちが軽くなりました」「ここの中

に降った雨が流れて、晴り顔で別れました。次週、高島市民病院のがん患者サロン「ほつ

れ間が見えました」と笑顔に抱えていた重い荷物をその場に下ろして、「ボチボチ生きていこうね。またね」と、につこも、「皆さん強くて明るくって気持ちが軽くな

りました」「ここの中の皆様の熱意に感謝です。二つの集いに参加して、ピアサポートはやはりがん医療に必要な支援だと改めて感じました。ひとりで悩まず、ピアと一緒に医療に必要な支援を受けたい」と語りました。

出会い、「このマスク」を外して次の一步を歩み出してほしいと思

ます。

これから開催されるピ

アサポートです。コロナ

感染が第7波に入りましたので、参加は感染状況

をみて判断してください。

(乳がん患者会「あけ

ぼの滋賀」代表)

江がん医療の会主催

※詳細は主催団体HP

で確認ください。

(乳がん患者会「あけ

ぼの滋賀」代表)

日・木) || いずれもあけ

ぼの滋賀主催

◇がん患者さんご家族

さんの集い

「ハートケアサロン」

(8月20日・土) || 近

月4日・日) || 県がん患

者団体連絡協議会主催

きくい・つたこ 大津市  
在住 がんサバイバー。乳

がん患者会「あけぼの滋賀」  
代表。滋賀県がん患者団体連絡協議会会長。滋賀県が

ん教育スピーカーバンク責任者。

